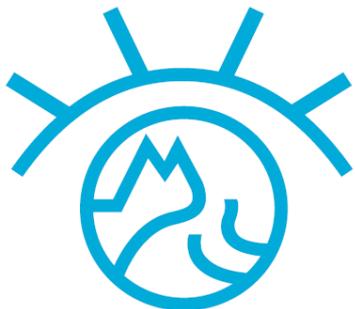


# KICS化事業(教育)の展開 「えんむすび隊」と地域協働学部創設

学生も教員も 長期的かつ徹底的に地域と向き合います



(仁淀川町長者地域 2007年から地域協働継続中)



**地域協働学部 設置準備委員会**  
**委員長 上田健作(高知大学教授)**

# KICS化事業における教育改革の全体像

## 1. 地域関連科目の充実(転換・新設による)

(1)「地域志向教育経費」公募による充実

26年度採択(21科目)〈専門(18)・共通(3)〉

(2)改組及び教育改革による充実

27年度首目標(総計253科目)に対し260科目を達成

## 2. 課題探求実践セミナーの地域関連科目化

27年度首目標(21授業題目の地域関連科目化)達成

※内11科目は地域参画型(地域活動体験含む授業)

## 3. 地域協働学部の開設

27年4月開設決定(1学部1学科 1学年60名 専任教員24名)

## 4. 学生と地域の繋がりの拡大

課外教育プログラム ①「えんむすび隊」 ②SBI(人間関係形成インターン)と「リエゾンオフィス」の運営

# 課外教育プログラム「縁むすび隊」

「えんむすび隊」は高知大学リエゾンオフィス（コラボレーション・サポート・パーク）が主催する高知大生のための「地域で学ぶ、地域を学ぶ 1日だけのSTUDYツアー」です。

私たちの暮らす高知県は大小さまざまな課題を抱えています。えんむすび隊は、そのような現場の実際に触れ、当事者として地域の課題を解決できるような人材を育成する初めの一歩になればと全学部全学年を対象に実施しています。

学生には大学の中にいるだけでは知りえない人と出会い、地域の魅力に触れると同時に課題を肌で感じ、学びに生かす機会に。地域の方には、学生との交流や触れ合いを通じて、自分たちの地域を見直すきっかけや課題解決のヒントになればと願っています。

※ 学生と地域の成長を視野に入れたプログラム





# 多様な企画を実施～企画③～

## 【農作業体験と地域の魅力探し、地域住民との交流など】

草引きや田植え、植え付け、収穫など人手が必要な農作業を大学生と地域の方が一緒に行い、大学生と共にワークショップなどで魅力探しや交流などを行っています。

26年度  
37回中 UBCが企画端緒(30回分)

4名のUBC 兼務教員4名 教務補佐1名  
で実施

**えんむすび隊**  
KOCHI UNIVERSITY'S UNDERGRADUATE

**参加者募集**  
5月11日(日)

地域の魅力を発見、交流の場を一緒に作り出そう！

「安田町中山地区」  
地域の魅力を発見する体験型イベント  
開催日時：5月11日(日) 10:00～15:00  
開催場所：安田町中山地区 中山地区公民館  
参加費：無料  
申し込み：5月10日(土)まで  
お問い合わせ：0877-821-1111

**★行き先：安田町中山地区**  
★やること：ヤマイモ(白薯)の植え付けと地元のいなかちゃん、おばちゃんと一緒に収穫と食べ比べと交流

★開催するもも(日)：5月11日(日) 10:00～15:00  
★開催場所：安田町中山地区 中山地区公民館  
★参加費：無料  
★申し込み：5月10日(土)まで  
★お問い合わせ：0877-821-1111

主催：高知大学 学生ボランティアセンター (e-Team) 企画：UBC

# えんむすび隊企画から実施までの流れ

## Step1 まずは相談

実施したい内容の詳細が決まっていなくても結構です。「大学生とこんなことをしてみたいんだけど…」との思いやご希望をご相談ください。

### ●高知大学 地域コーディネーター

- ①安芸地域・物部川地域  
080-2982-8762
- ②嶺北地域  
090-6881-4262
- ③幡多地域・高幡地域  
090-6880-7862
- ④高知市地域・仁淀川地域  
080-8637-9795

または

### ●高知大学 コラボレーション・ サポート・パーク

高知大学朝倉キャンパス  
学生会館(IKUS2階)  
088-844-8932

## Step2 実施プログラムの検討

- ・学生と地域をつなぐ窓口「コラボレーション・サポート・パーク」でお話を伺いながら、学生の学びにも受け入れ地域にもプラスになるような企画になるよう話し合いを重ねます。
- ・担当者の方には話し合いにご同席いただくこと、地域とのご調整のお願いや学生募集用ポスターのための写真提供などをお願いしています。

## Step3 現地確認

実施に先立ち、大学教員とコラボレーション・サポート・パークが現地の下見に伺います。

**兼務教員1名  
教務補佐1名で実施**

## Step4 学生募集開始

- ・コラボレーション・サポート・パークにて学生募集を開始します。
- ・応募状況等は随時、担当者の方にお知らせいたします。
- ・なお、参加人数等については、実施時期などにより多くの学生が集まる場合もあれば、希望者ゼロの場合もあります。
- ・また、留学生が含まれる場合があります。

## Step5 実施当日

- ・大学の教職員が引率し現地向かいます。
- ・当日参加した学生の感想やワークショップ等で学生が作成した資料等は地元にお返し、活用して頂きます。
- ・当日は、えんむすび隊プログラム改善のためのアンケートにご協力ください。
- ・また当日の様子を大学のホームページ上で紹介いたします。

注1) 未成年の学生が含まれるため、アルコール等が入る企画には対応できません。

注2) セクハラなどの問題が起きないようにお互いに注意を払いながら企画を進めていきましょう。

注3) 実施を希望する日の2か月ほど前までにご相談いただくと準備がスムーズに進みます。また、窓口となる担当者を決めて頂けると助かります。

注4) 教育活動の一環です。イベント等の集客目的、アルバイトの代替労働力としてのお申し出には対応いたしかねます。

# えんむすび隊出動先(2010年~2015年)



- 【大豊町】怒田地区稲刈り  
八畝地区きび植え付け、収穫  
日曜市出店者しいたけ駒うち
- 【本山町】田んぼアート植え、収穫  
汗見川マラソン  
汗見川地区そば脱穀  
合同会社ぼうむ木の家具づくり体験
- 【土佐町】いしはらの里間伐体験  
稲叢山植樹
- 【大川村】大平地区草刈り  
大藪地区草刈り  
ロゲイニング大会

- 【中土佐町】大野見地区モーニング手伝い、  
茶摘み、こんにやくづくり  
上ノ加江地区漁業体験
- 【津野町】船戸地区せいらんの里
- 【四万十町】窪川地区海洋堂かっぱ館、  
ホビー館、四万十川桜マラソン  
十和地区四万十ドラマ

- 【四万十市】三又地区ぎんなん祭り  
西土佐地区河原清掃・竹の子掘り
- 【宿毛市】楠山地区梅まつり
- 【三原村】ゆず収穫
- 【黒潮町】であいの里蜷川モーニング手伝い



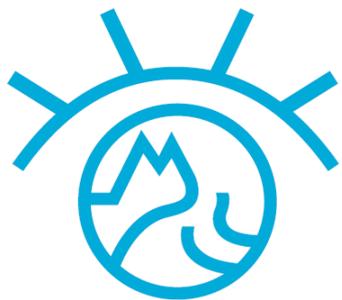
- 【高知市】長宗我部祭り  
土佐山地区ホタル祭り、キャンドルナイト  
岡崎牧場  
県立文学館  
龍馬ハンドインハンド  
ものづくり総合技術展  
日曜市  
薫工ミュージアム  
沢田マンションアートツアー  
日本女子プロ野球機構オープン戦応援  
あそび山  
おもてなし勤王党インタビュー

- 【いの町】吾北地区大豆植え付け、収穫、  
棚田の火祭り  
昭和レトログッズの達人に会う
- 【日高村】日高メンふえすていばる!!!!
- 【仁淀川町】長者地区菖蒲祭り、七夕まつり、  
キャンドルナイト
- 【土佐市】商店街ひな祭り準備
- 【佐川町】上町地区ひな祭り準備

- 【香南市】西川花まつり  
香我美地区Vegelifarm収穫体験  
山北地区ひよどりみかん園収穫
- 【香美市】土佐山田地区地場産業見学  
物部地区公文農園収穫体験

- 【室戸市】吉良川ひな祭り  
室戸ジオパーク
- 【奈半利町】まち歩きとシーカヤック
- 【安田町】中山地区山芋植え、草引き、  
やまいも祭り
- 【北川村】モネの庭
- 【馬路村】魚梁瀬村民大運動会
- 【安芸市】ナスの収穫  
西日本じゃこサミット





# 地域協働学部設置について

## 1. 地域協働学部地域協働学科の構成

少人数教育の徹底 学際的な教員組織編成

## 2. 地域協働学部地域協働学科の教育課程

実践と座学の徹底した有機的連関を実現

## 3. 地域協働学部設置の趣旨・目的

「地域協働」の二つの意味

## 4. 育成する人材像と能力

地域協働型産業人材 地域協働マネジメント力



学生

1学年60名 収容定員240名

特色ある入試;一般入試、推薦入試、AO入試の全てにおいてグループワーク及び面接を課す

教員組織の編成

地域協働の教育・研究を担う教員を学内・学外から結集

多彩な専門性を有する専任教員 24名

H28年度新規採用2名(未定)  
内1名専門分野未定

経済学・経営学分野 教授4名、准教授2名、講師3名

行財政・地域産業政策・産業論・商業流通  
経営組織・組織学習・海外直接投資  
社会的起業・非営利組織経営

社会学分野 教授1名、准教授2名

地域社会学・地域福祉、比較地域社会  
ソーシャルキャピタル

教育学分野 教授1名 助教1名

社会教育・生涯学習・地域組織

農学分野 教授2名、准教授1名

フードビジネス論・地域資源管理論  
6次産業化論

環境分野 准教授1名 講師1名 未定1名

地域計画・地域防災・環境社会学

美術・スポーツ分野 教授1名、准教授2名

デザイン・スポーツ政策  
地域スポーツ社会学

# 地域協働学部の「地域協働」 ～ 二つの意味 ～

- ①【目的】「地域協働」を教育・研究  
・・・「地域協働型産業人」を育成
- ②【手段】教育・研究を「地域協働」  
によって実践する

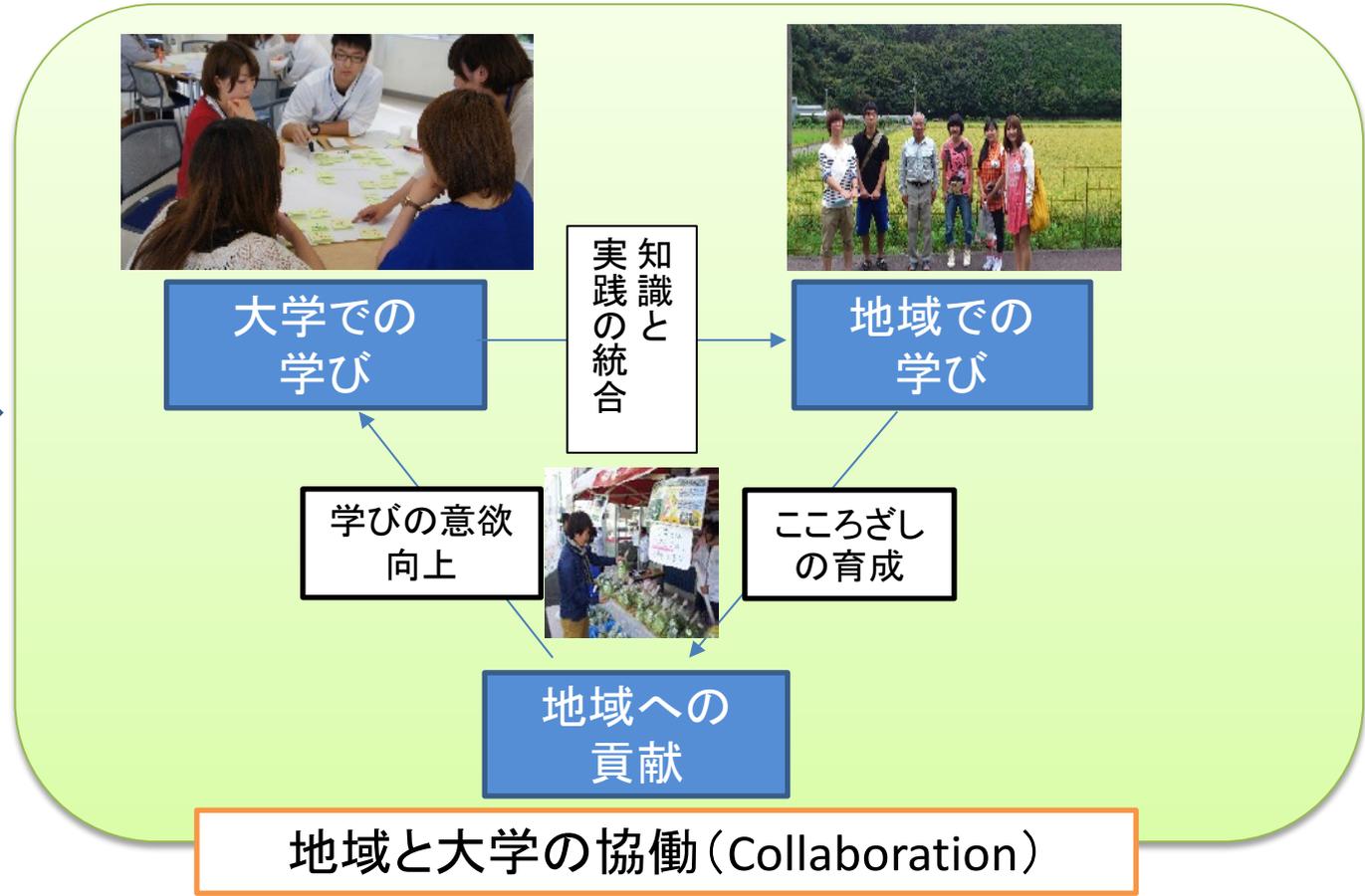
(全国初 その1) 学部組織として上記のテーマをミッション  
に掲げる学部！！

(全国初 その2) 学部を挙げて地域協働で教育・研究を行  
う学部！！

「長期的かつ徹底的に地域と向き合う」= 地域と大学の協働を実践する

## これが、地域協働学部の基本理念！！

1学年  
60人の学生



24名の専任教員体制で指導

地域で学び、地域の未来を拓くリーダーを育成する

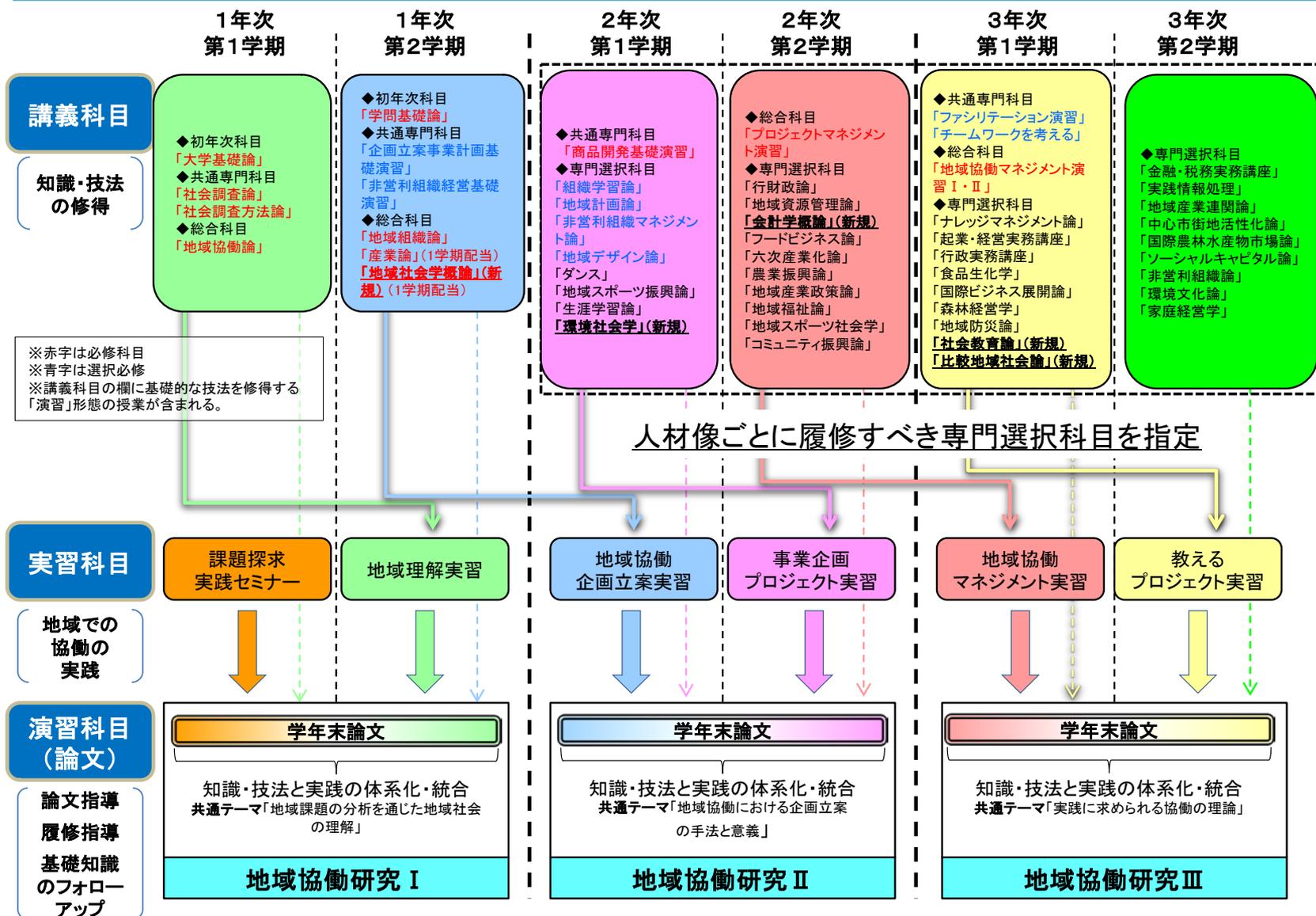
地域協働学部の「成長サイクル」

さまざまな地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践。

地域の未来を拓くリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。

# 実習を柱とする教育課程

## 実践と座学の徹底した有機的連関を実現



# 実習授業の流れ

## 社会人と共に学ぶ

実習授業の全てに、地域住民、行政関係者、企業関係者、各種専門家との協働作業が組み込まれている。

地域特産品、観光プラン、防災関連商品などの開発と事業化、福祉サービス、健康・スポーツなどの事業化、地域おこしイベントなどを企画します。

2年  
2学期

### 事業企画プロジェクト実習

地域資源の商品化に向けた事業計画立案のプロジェクトを行う。実習を通じて、商品(事業)開発力、事業計画力を磨く。

3年  
1学期

### 地域協働マネジメント実習

商品開発プロジェクト実習で策定した計画を実行し、事業結果に対する評価案を作成する。行動持続力、リーダーシップ、事業評価力を磨く。

Plan

Check, Act

Do

## 地域活動の基盤形成

1年  
2学期

### 地域理解実習

地域諸活動への参加、地域関係者へのヒアリングを行って、地域の特性・課題等を考える。

2年  
1学期

### 地域協働企画立案実習

地域課題の探求を行い、資源を科発掘し、それを活用するための企画を立案する。

1年  
1学期

### 課題探求実践セミナー

市町村において地域の諸活動に参加したり、行政職員・住民等と意見交換を行う。これらの交流を通じて多様な人々とのコミュニケーションできる力を身に付ける。

地域協働マネジメント力  
、「地域理解力」、「企画立案力」、「協働実践力」の発達

- ☆企画立案事業計画基礎演習
- ☆社会調査論
- ☆社会調査方法論

- ☆商品開発基礎演習
- ☆プロジェクトマネジメント

- ☆ファシリテーション演習
- ☆チームワークを考える
- ☆地域協働マネジメント演習

実習をサポートする演習

各実習授業の開始前、または同時並行で学ぶことで、実習効果が高まる。

専門科目

地域協働型産業人材に必要な専門知識を学びます。  
地域協働マネジメント分野、地域産業分野、生活・文化分野

取得可能資格: 社会調査士

# 専門講義科目の構成と学び

## 地域産業分野

- 農林水産業
- 製造業
- サービス業

地域産業分野では、3つの領域における地域協働マネジメントによる6次産業化の可能性を専門的に学びます。

## 地域協働マネジメント分野

- 組織運営を学ぶ
- 地域資源を活かす
- 地域主体を知る

地域協働マネジメント分野では、地域での活動に必要となる組織運営、地域資源の活用、地域主体の特性といった基礎的知識、スキルについて学びます。

組織運営では、個人の知識を組織的に共有し、より高次の知識を生み出すための技法を学びます。

地域資源の活用では、地域資源を利用したプロジェクトの企画立案から、プロジェクトを成功させるためのPDCAサイクルを学びます。

地域には様々な既存の主体（アクター）が活動しています。これらの目的や役割を学び、適切な連携が図れるような能力を身につけます。

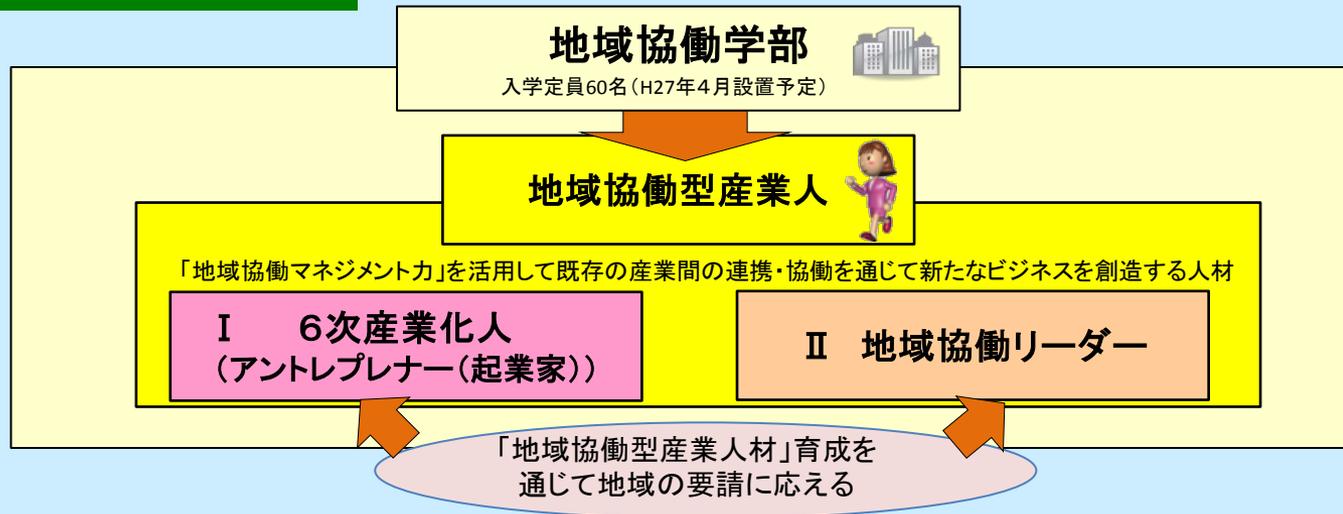
## 地域産業振興 六次産業の創出

## 地域生活分野

- 福祉・健康・スポーツ
- 文化・環境
- 防災・コミュニティー

地域生活分野では、3つの領域における地域協働マネジメントによる6次産業化の可能性を専門的に学びます。

## 地域協働学部による人材育成イメージ



## 新たに輩出を目指す人材像

### I 6次産業化人 (アントレプレナー(起業家))

①6次産業による新ビジネスを自ら起業して活躍する人材



### II 地域協働リーダー

#### ②産業の地域協働リーダー

各産業において、異業種間等の協働を通じた新ビジネスの創造等を行う地域協働リーダーとして活躍する人材



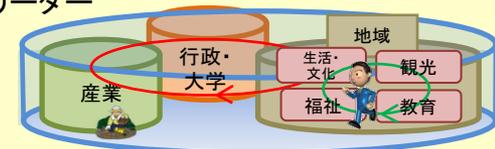
#### ③行政の地域協働リーダー

産官及び官民の協働をコーディネートして行政施策を推進する行政職員等(地域協働リーダー)として活躍する人材



#### ④生活・文化の地域協働リーダー

NPO法人、社会福祉協議会等の非営利組織において、多様かつ複合的な視点を有し、生活・文化領域で地域協働リーダーとして活躍する人材



# 地域協働型産業人材が有する能力

## 地域協働マネジメント力

**地域理解力**

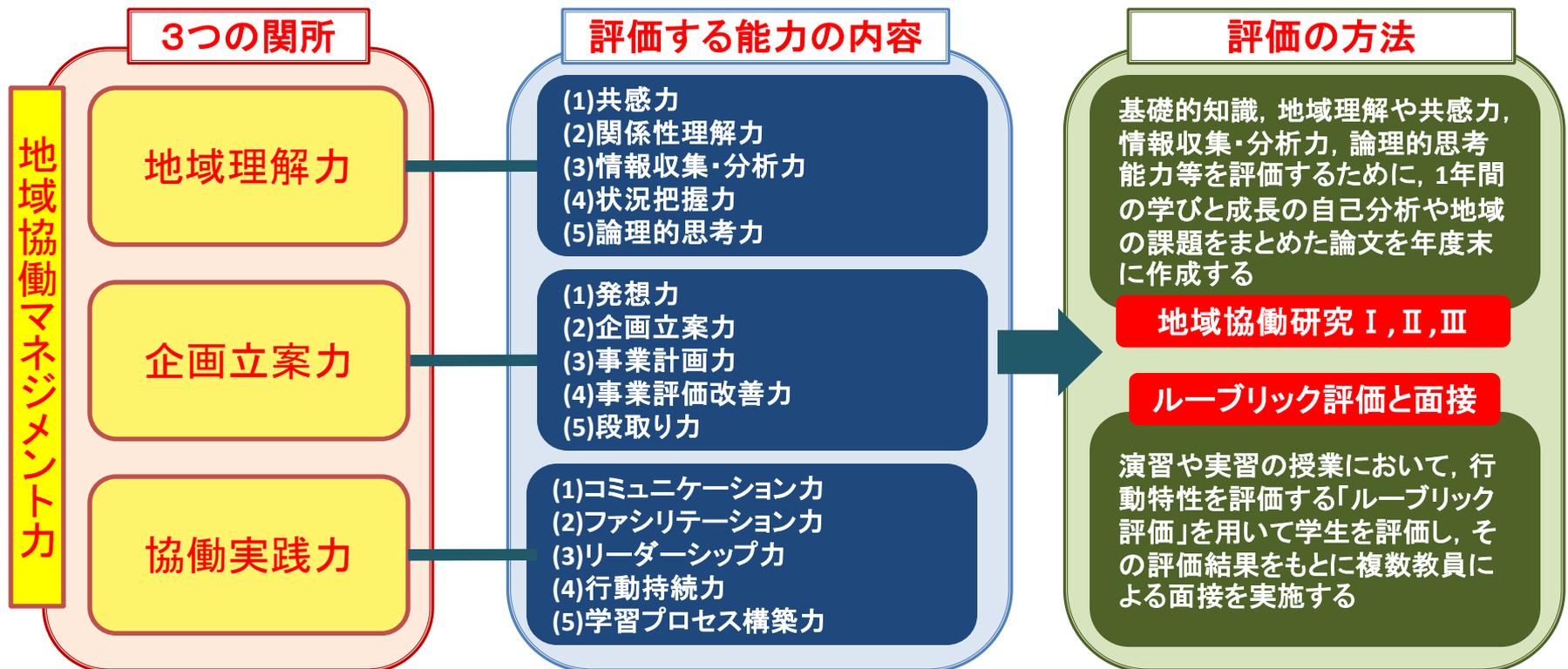
**企画立案力**

**協働実践力**

# 「地域協働研究(学年研究論文)」を核にした 学年末“関所”(進級評価)の導入

## 学年末“関所”導入の目的

大学が「地域をキャンパス」にして、学生を地域に送り込む場合、「地域にお世話になる」、「地域で鍛えて頂く」といった姿勢だけでは不十分である。学生が地域で効果的で質の高い実習を行うためにも、そして、大学が地域に信頼され地域に対する“責任ある参加”をしていくためにも、事前の学生の能力のチェックや実習に向かう学生の質保証は避けては通れない課題である。そこで、地域協働学部では1年生から3年生までの全学生に「地域協働研究」=学年研究論文を核にした学年末“関所”(進級評価)の通過=「関所越え」を課すことにする。もちろん、この関所は単に学生の能力評価をするというものではなく、学生の学習支援を重視したものである。この「地域協働研究」=学年研究論文は、実習だけを重視するような傾向に学生が陥らないように是正し、知識・スキル等の確実な習得=「知の統合」を図り地域理解を深めていくという目的も有している。



# 地域協働とは

「協働 (Collaboration)」とは、「自律した人や組織同士が立場や利害を越えて共に考え行動し、単独では解決できない共通の課題を解決し、新しい価値や創造物(成果)を産み出す関係や行動様式(営み)」である。

「地域協働」とは、「地域社会が抱えている諸課題を調和的に解決し、地域社会の再生と持続的な発展を図るための多様な地域主体(人や組織)間の協働」をいう。

【学部設置申請書より】

# 地域協働の4機能（効果）

## ① 人と社会の課題を解決する力

人と社会の課題を発見・解決する課題解決機能（効果）

## ② 人と社会を育てる力

人や組織・社会の自律化を促進する教育機能（効果）

## ③ 人と社会を強くする力

人や組織・社会のレジリエンスを引き出し強化する強靱化機能（効果）

## ④ 人と社会を感動させる力

人と社会の中に感動と共感を産み出す機能（効果）

# 今なぜ地域協働が必要か

地域課題は、

◇多様で複合的

◇変化が激しい

このような性質の課題解決を図るには、

◇多様な人や組織の「地域協働」が不可欠である・・・地域協働＝知恵の出し合い、学びあい

◇粘り強く課題に立ち向かう「地域力」を地域自身が付けることが不可欠

# 大学(学生)と地域(住民)の「協働」の役割

## ○地域(住民)との協働を活かした**学生教育**

地域の未来の担い手としての地域人材を育成するために、大学と地域との「協働」による地域力を活かした実践的な学生教育を行う

## ○大学(学生)との協働を活かした**社会人教育**

地域の今の担い手としての地域人材を育成するために、学生教育や研究を通じた大学と地域との「協働」による社会人教育を行う

## ○学生力を活かした**地域貢献**

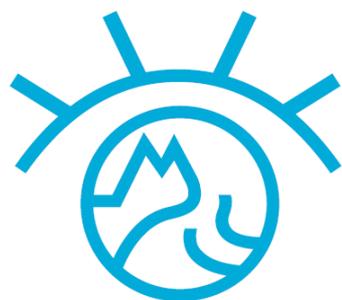
大学が、真の意味での地域貢献を実現するために、学生教育(サービスマーケティング等の実習)による継続的で徹底した地域支援を行う

地域に寄り添う



の

先陣として疾走する



地域協働学部が

4月1日スタートです。